

あなたと 青山学院



地の塩、世の光
The Salt of the Earth, The Light of the World

青山学院スクール・モットー

30万人の卒業生と母校をつなぐ「絆」

2011. WINTER No.4

今号の聖句 あなたを照らす光は昇り 主の栄光はあなたの上に輝く。 Arise, shine; for your light has come, and the glory of the LORD has risen upon you. イザヤ書 第60章1節

大学日本一 男子バスケット部が 4冠の偉業を達成!!



2010年5月上旬の第59回「関東大学バスケットボール選手権大会」、9～10月にかけて行われた第86回「関東大学バスケットボールリーグ戦」、11～12月にかけて行われた、大学最高峰の選手権である第62回「全日本大学バスケットボール選手権大会（インカレ）」のすべてを制し、10年ぶりに主要大会3冠を達成した男子バスケットボール部。

5月下旬の第50回「関東大学バスケットボール新人戦記念大会」も優勝、すべての公式戦4大会を制して、創部80周年の記念すべき年に4冠達成の快挙を成しとげました。圧倒的な強さを見せた今シーズンを振り返り、長谷川健志監督と4年生を代表して橋本竜馬主将（経済学部）、小林純也副主将（経営学部）、宇田川一馬選手（経営学部）が語ります。

頂点を知る 4年生の 強い意志がチームを牽引

2010年度のチームは、例年に比べてさらに戦力が充実し、スターティングメンバー以外の選手も実力者が揃っていたといいます。「プレーを決めるのは心です。常に精一杯の練習をし続けるというのはつらいものですが、そういう100%の練習をしなければ、人間の心はタフになりません。下級生がくじけそうになったときでも、4年生が率先して厳しい練習に取り組む姿勢を見せてくれたことで、全員が着実に成長することができました」と長谷川監督。

チームを牽引する立場として、ときにはプレッシャーがかかったという橋本主将は、「念願の3冠を達成し、それが4冠にもなって、今はホッとしているというのが正直な気持ちです」とのこと。「私たち4年生は、3年前のインカレの優勝経験があります。インカレで優勝したうれしさも、その後勝てなかった悔しさも両方知っているんです。今年は絶対に主要試合3冠を達成したかったので、部員全員、秋のリーグ戦に優勝した後も気の緩みはありませんでした」と振り返ります。

部員全員の努力で つかみ取った4冠

小林副主将も同様に、4年生の「4冠がかかったインカレに勝ちたい」という思いが下級生にも伝わ

たといいます。「インカレが一番勝ちたかった試合です。優勝できて本当にうれしく思っています。勝ちたい気持ちが強すぎて、決勝戦では20点以上もリードしていたのに、まったく気が抜けませんでした。試合時間がすごく長く感じましたね」。

また、宇田川選手は、「新チーム結成時に、4年生みんなですべきことを話し合いました。下級生たちのプレーだけでなく日常にも気を配ろうと決めました。そうやってチーム全体の向上を目指したんです。その結果が4冠達成です。目標とするすべての大会で優勝できて最高です!」と語ってくれました。

「青学ならではの、どの選手がコートにいても瞬時に攻守を切り替えられる試合運びができました。4冠達成を目指し、インカレ前の1か月、特にディフェンスに重点をおいて練習をしました。その成果は明らかで、攻撃的なディフェンスと予測力が身につく、畳み掛けるオフェンスも可能になりました」と長谷川監督。4冠達成は、まさに全員の努力でつかみ取った栄光といえるでしょう。

青学バスケットで培った リーダーシップに期待

JBLスーパーリーグには橋本主将がアイシン精機、湊谷安玲久司主選手（国際政治経済学部）が三菱電機、関東実業団には小林副主将が日本無線、宇田川選手が新生紙パルプ商事にそれぞれ内定しています。今後は社会人としての活躍が大いに期待され

ます。応援をよろしくお願いいたします。

関東大学リーグ強豪校の中で最少部員数の本学の試合を、校友の皆様や一般学生に観戦していただくと選手たちも心強いはず。今後も男子バスケットボール部へのご声援をよろしくお願いいたします。

男子バスケットボール部HP

<http://homepage3.nifty.com/agu/>

監督からひと言



長谷川監督

取り組みば結果に結びつくと思います。心の成長がないと技術の成長はありません。まずは心を成長させ、目標をしっかりとって体力、技術も含めて一步一步進んでいき、結果として優勝できるチームにしたいと思っています。

2011年度は他大学が打倒青学に必死ですから、そう簡単に連覇を許してくれるはずがなく、少なくとも今年度のチームを超えるチームにならないかぎり、4冠は獲得できないでしょう。ただ、優秀な人材がいるので、さらに向上心を持って練習に

CONTENTS

箱根駅伝2年連続シード権獲得.....3

学校法人	男子バスケット部が4冠の偉業を達成	1
学校法人	山北 宣久院長新年挨拶	2
	半田 正夫理事長・伊藤 定良大学学長・原 進校友会会長 新春対談	2
学校法人	青学スポーツ・アカデミー	3・4
学校法人	青学ニュース	5
校友会	支部ニュース	6
校友会	アイビーグループニュース	8

校友会	部会・同窓会ニュース	10
学校法人	青学探訪「美術散歩」	12
学校法人	AOYAMA FAMILY / 公認会計士合格 岡田 優介さん	12
	AOYAMA FAMILY / レスリング 長谷川 恒平さん	13
学校法人	Useful Information	14
学校法人	青山学院からのお知らせとお願い	15
校友会	校友会本部	16